

## 8 公式ワナゲ



場所	人数	対象年齢	運動強度
屋内外	単独投制限無 交互投1対1	誰でも可	軽度

### 特色

輪投げは、得点板の棒にいくつの輪を投げ入れることができるかを競うゲームである。広い場所を必要とせずどこでも楽しめる。ルールは、簡単だが点数の数え方や投球回数など作戦を立てながら行えば以外と奥深いゲームである。また、ルールを応用し、年齢・性別・競技場所等を自由に設定することで、子供から高齢者まで気軽に、より面白く楽しめるスポーツである。

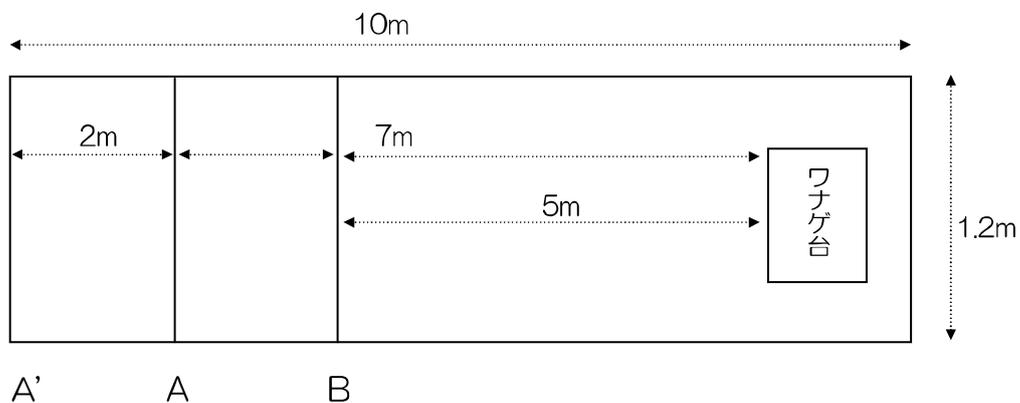
### 用具

輪投げ台 台は60cm × 60cm。的棒9本・高さ18cm。うしろ脚高さ17cm。

投げ輪 直径17cm、重さ150gのゴム製・9本を使用する。

### コート

平坦な場所に台を設置し、図のようなコートをつくる。屋内は問わない。公式ルールではラインAの7mラインより投輪を行う。但し、状況に応じラインA'、及びラインBを使用することもある。



## 競技方法

ゲームは、2人以上であれば個人戦、団体戦ができる

個人戦 最多得点戦

団体戦 2対2・3対3などのほか自由に設定できる。

## 競技方法

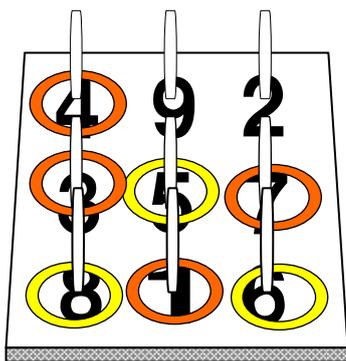
【単独投輪方式(参加者が多いとき)】

- (1) 9本のリング(赤4・黄4・青1)を続けて全部投げる。
- (2) リングを投げるときは、どのように持ってもかまわないが、必ず片手で持ち、ラインの手前から投げる。違反があったリングは全て取り除く。
- (3) 無効リングによって、すでにポールに入っているリングが外れた場合は、外れたリングを元通りポールに戻す。ただし、ワナゲの台に乗っていたリングが移動した場合はそのままにし、一度床に落ちたリングがその後台上に乗った場合は、その都度取り除く。
- (4) ワナゲ台の上に乗っているが、すでにポールに入っていないリングが、その後のプレーでポールに入った場合は有効となる。
- (5) 得点は9本のリングを投げ終わった後、次のプレーヤーが計算する。(相互審判)

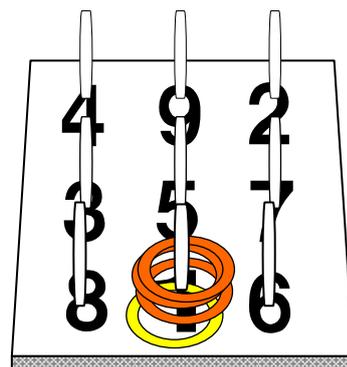
【交互投輪方式】

- (1) じゃんけんで勝った方が先攻(赤リング4本)、負けた方が後攻(黄リング4本)となり、「負け後攻の原則」1投ずつ交互に投輪する。
- (2) 青リング(アンカーリングと呼ぶ)は投輪ライン付近の投輪に支障のない場所に置く。  
リングの投げ方、有効得点、無効得点は単独投輪方式を参照。
- (3) 各4本ずつを投げ終わり、互いの点数を確認した後、点数の低いプレーヤーに「アンカー権」が与えられる。
- (4) 同点であった場合アンカー権は施行されない。「和の原則」
- (5) 得点はアンカーリング投輪後に互いに確認する。(相互審判)
- (6) 1試合3セットで競い、2セット以降は前セットで負けた方が後攻となる。「負け後攻の原則」
- (7) 勝敗は、1試合3セットマッチで行い、2セットで勝敗がついても3セットまで行う。
- (8) ゲーム進行上、勝敗が必要な場合は「1本勝ち」で決める。  
1本勝ちとは、各自1本ずつ交互に投げあい、点数の高いほうが勝つとする方法である。  
それでも同点の場合は、勝敗が決まるまで投げあう。

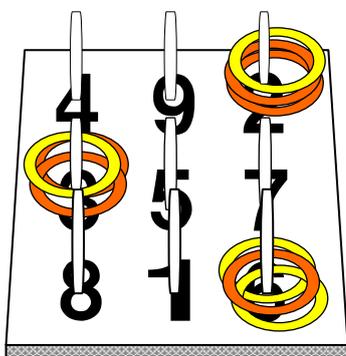
縦・横・斜めに各々3個ずつ  
 並んで入った場合はその列の数。  
 (例: 縦1・横2・斜1に入った場合・計4回)



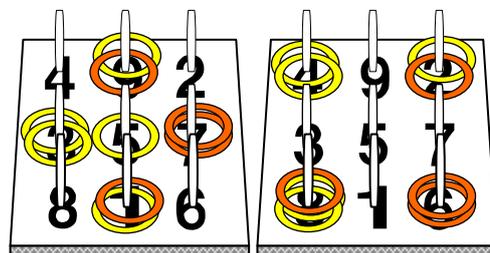
同じ棒に4個入った場合は1回。  
 それより1個増すごとに1回増。  
 (例: 5個入った場合・2回)



同じ棒に各々3個ずつ9個とも全部入った場合は3回。



奇数または偶数の棒に9個とも全部分かれて入った場合は3回。



奇数

偶数

【 得点表 】

競技者	氏名	1回目	2回目	3回目	合計得点
1					
2					
3					

【 競技のコート 】

